

科目名	測量実習・材料実験						年度	2025	
英語科目名	Geological Survey and Building Material Test						学期	後期	
学科・学年	建築学科 1年次	必/選	必修	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	大澤 公仁		教員の 実務経験	あり	実務経験の 職種	建築設計			
【 科目の目的】 距離の測量方法と建築材料の力学的性質を、実習・実験を通して学ぶ									
【 科目の概要】 測量では、距離・水準・角度の測量実習を行う。材料実験では、主要な建築構造材料の力学的性質を実験により学ぶ。									
【 到達目標】 A オートレベル・トランシット・平板を利用して基本的な測量が出来る。 B 木材・鉄筋・コンクリートの強度試験を通して材料の力学的性質を理解する。									
【 授業の注意点】 服装は作業性を重視し、履物はサンダルやヒールの高い靴は避けること。電卓(携帯電話不可)を必ず持参すること。班単位での作業となるので、遅刻 や無断欠席で他の班員に迷惑が掛からないようにすること。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう	レベル1 要努力						
到達目標 A	精度高くオートレベル・トランシット・平板を利用して基本的な測量が出来る。	オートレベル・トランシット・平板を利用して基本的な測量が出来る	オートレベル・トランシット・平板を利用して基本的な測量が出来ない。						
到達目標 B	木材・鉄筋・コンクリートの強度試験を通して材料の力学的性質を深く理解する。	木材・鉄筋・コンクリートの強度試験を通して材料の力学的性質を理解する。	木材・鉄筋・コンクリートの強度試験を通して材料の力学的性質を理解していない						
【 教科書】 その都度プリントを配布する。									
【 参考資料】									
【 成績の評価方法・評価基準】 レポート・出席状況・授業態度などを総合的に判断する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		測量実習・材料実験			年度	2025
英語表記		Geological Survey and Building Material Test			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	RC1	(材)モルタルの調合設計を説明する。		モルタルの性質を知る		
2	RC2	(材)モルタルの調合設計の演習を行う。		モルタルを実際に練ってみる		
3	RC3	(材)モルタルの材料計量、型枠の準備を行う。		実験道具の後始末を覚え、実験道具のメンテナンスを覚える		
4	RC4	(材)モルタルの練り混ぜ・テストピース作成を行う。		標準モルタルを練る		
5	測量1	(測)水準測量、オートレベルの操作方法を習得する。		レベルの据え付けができるようになる		
6	測量2	(測)水準測量、オートレベルでの基本的な測量方法(昇降法)を習得する。		中庭で昇降法をし、開始地点と終了地点のレベル差がわかる		
7	測量3	(測)水準測量、オートレベルでの基本的な測量方法(器高法)を習得する。				
8	RC5	(材)モルタルの圧縮試験を行う。		モルタルの圧縮強度を知る		
9	測量4	(測)トランシットの操作方法を習得する		トランシットの据え付けができるようになる		
10	測量5	(測)トランシットでの基本的な測量方法を習得する。		トランシットで正確な角度が出せるようになる		
11	測量6	(測)平板測量による基本的な測量方法(放射法)を習得する。		平板測量を理解する		
12	RC6	(材)木材の圧縮試験を行う。		木材の性質を知る		
13	RC7	(材)鉄筋の引張試験を行う。		鉄筋の材料的な性質を知る		
14	測量7	(測)オートレベル・トランシットの据え付け試験を行う。		透けつかけの再試験を行う		
15	測量8	まとめ				

評価方法: 1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価: S: とてもよくできた、A: よくできた、B: できた、C: 少しできなかった、D: まったくできなかった

